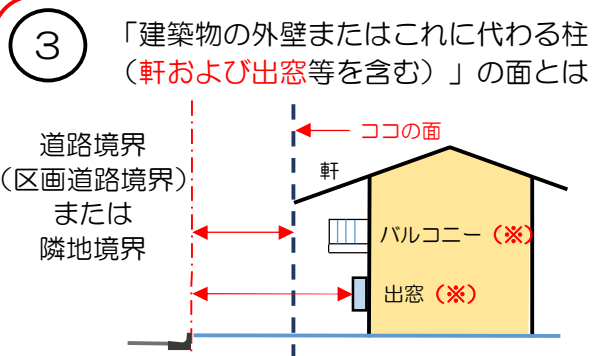
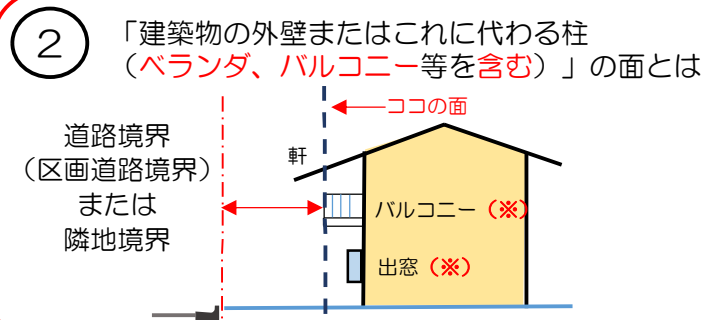
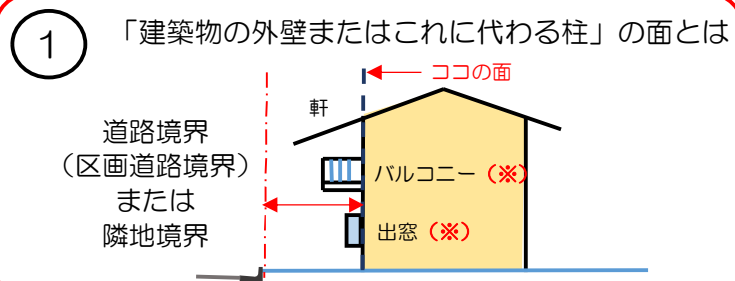


○壁面の位置の制限について

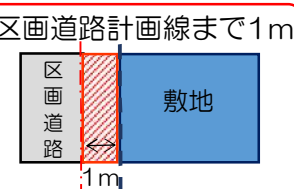
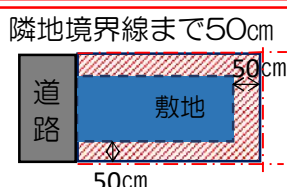
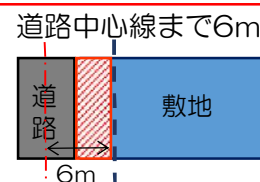
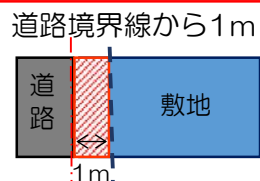
※「建築物の壁若しくはこれに代わる柱」の位置を制限している地区計画があります。

建築物の**外壁**または**これに代わる柱**とは。
※地区整備計画の書き方で、制限の対象が異なります。



地区の特色に合わせ、制限をかけています。

制限のかかる
範囲の例



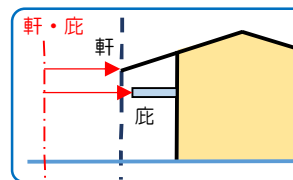
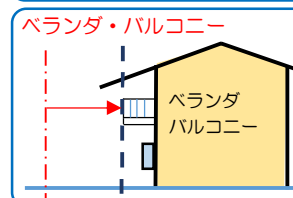
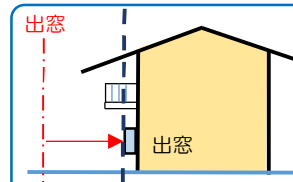
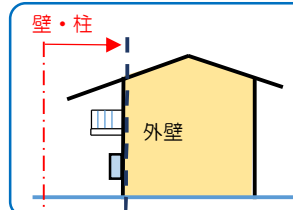
：制限のかかる範囲

※注意：共通事項

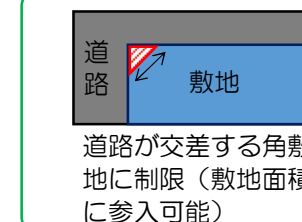
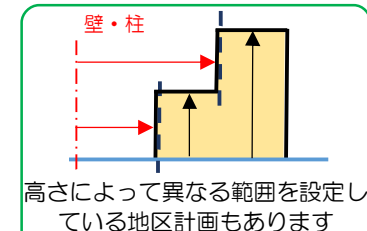
・区画道路等の地区施設から壁面後退制限を定めている場合は、街並みの空間を確保するため、壁面後退線を越えて建築することはできません。

・一部の地区計画においては、**軒、バルコニー、出窓、シャッターボックス、面格子等**の面を有するものについて、制限を定めている場合がありますのでご確認ください。

建築物の対象
範囲の例



地区に合わせた
制限の例



物置 (5㎡以下、軒の高さ2.3m以下)

自動車車庫 (軒の高さ2.3m以下、周囲を囲わない) を**制限から除外**している地区計画もあります

その他
庇の設置高さにより**制限から除外**している地区計画もあります